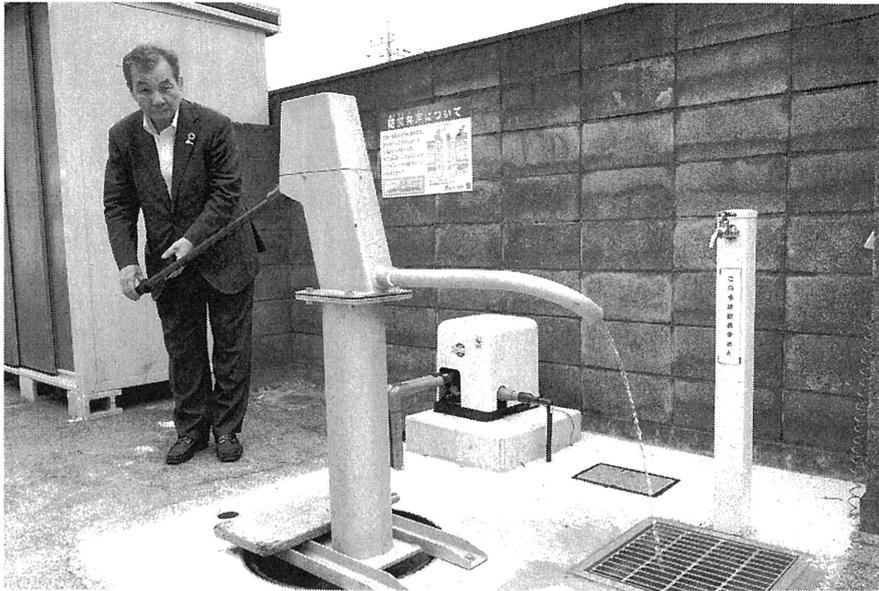


# 株式会社日さく(大宮区)

日さく本社敷地内の「防災井戸」。地下30mから水をくみ上げており、若林直樹社長は「災害時には地域の皆さまにも」と話す。さいたま市大宮区桜木町



# 価値もたらす企業に

キラッと  
カンパニーズ

1912(明治45)年4月創立、日本初の機械化施工の井戸を掘る企業。同社施工の井戸は23年の関東大震災でも異常がなかったことから需要が増え、皇居内でのさく井(じょ

う)も手掛けるなど、国内での事業が拡大した。26年には中国・上海に駐在事務所を開設。40年には新潟市内で天然ガスの掘削に成功した。

(新井護)

## 危機乗り越え掘削110年

「当社(これまで)に3度の危機を迎えています」と話す若林直樹社長(67)。地盤沈下抑制のための59年の天然ガス採取規制、69(昭和44)年の地下水取水制限、海外での地下水供給プロジェクトでの多大な損失、2002(平成14)年以降の公共事業減少による売り上げ減は「会社存亡の危機」だったという。

現在はそうした危機を乗り越え、さく井、その技術を発展させた土木部門、調査部門の3部門を有する強みを生かし、さく井工事、井戸メンテナンス、特殊土木工事、地下水関連設備工

事、井戸用設備製造・販売、地質調査・建設コンサルタント、海外事業、技術開発を手掛けている。

2003年10月、本社を東京都内からさいたま市に移転。さいたま新都心が街びらきし、社員に県民が多く、かつては旧鳩ヶ谷市内に社員寮があったことも理由という。「街は住みやすく、全国から学生も集まりやすくなったね」。

明治、大正、昭和、平成、そして令和へ。ほどなく会社は創立110周年を迎える。

「企業が存続するには、社会に価値をもたらす存在であることを考えなければならぬ」。そのためには、社員が心を磨き、人間性を高めることが必要だという。一滴でも多くの水を一人でも多くの人へ。創業150年、200年へ向けた取り組みが続く。

さいたま市大宮区桜木町4の199の3▽(☎048・644・3911)

### 若林直樹社長

健康経営を目指す。社内に野球部、バスケットボール部も作り、社員旅行も行きま。会社を楽しいと感じ、社員が能力を発揮してもらえれば。